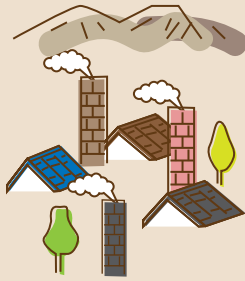


ひと言 コラム

「瀬戸へ行かんでどこへ行く」

近代において、瀬戸で石炭窯が採用されて以降、まちでは煙突が乱立し、吹き出す黒煙でスズメすら真っ黒だったといわれました。陶土で白く濁った瀬戸川は、瀬戸の窯業繁栄の証とも称されました。この時代、分業体制の進んだ瀬戸の陶磁器生産は、「ロクロ師」・「絵付師」・「焼き手」をはじめ、雑用をこなす「モロ衆」など多様な職人で成り立ち、多くの人が働き口を求めて瀬戸にやって来ました。「瀬戸へ行かんでどこへ行く」とは、「瀬戸に行けば何かしら稼ぎ口がある」ということを意味し、かつて繁栄を極め、活気にみちた瀬戸のまちの風景を思い起こさせる言葉なのです。



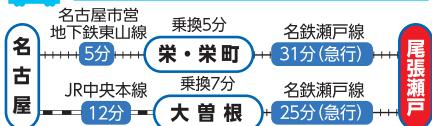
1000年以上の歴史を誇る せとものまち 陶都・瀬戸

愛知県瀬戸市は、名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を標高100~300mの小高い山々に囲まれ、気候も温暖なまちです。

良質で豊富な陶土に恵まれ、瀬戸市で焼かれるやきものは、「せともの」というやきものの代名詞として日本のみならず、世界の人々に知られるようになりました。先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、「せとものまち」を発展させてきました。

先人たちより引き継がれてきた「歴史」「伝統」「文化」、そして豊かな「自然」が、今もなお、瀬戸の暮らしに息づいています。

電車でお越しになる場合

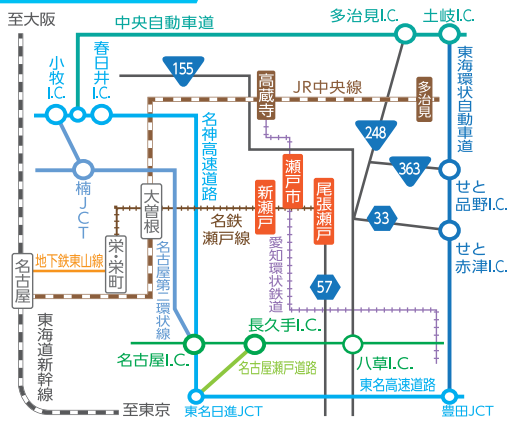


高蔵寺、岡崎方面からは愛知環状鉄道利用、瀬戸市駅下車、名鉄瀬戸線に乗り換えです。

お車でお越しになる場合

- 東海環状自動車道 せと赤津I.C.から(約10分)
- 東海環状自動車道 せと品野I.C.から(約15分)
- 名古屋瀬戸道路 長久手I.C. (東名高速道路日進JCT経由)から(約15分)

瀬戸市へのアクセス

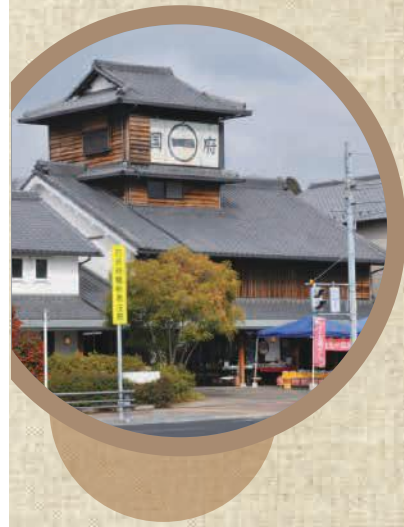


問い合わせ先

瀬戸市文化課
TEL:0561-84-1093 FAX:0561-85-0415
〒489-0884 愛知県瀬戸市西茨町113-3
(瀬戸市文化センター内)



このガイドマップは、歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業(文化芸術振興費補助金)を受けて作成しています。



日本遺産のまち瀬戸市
瀬戸を知る
テーマ別ガイド③

歴史ある 建物を巡るコース

